

民泊の高校生が寄付 伊江村に文化祭売り上げ2万円

【伊江】福岡県の純真高校の2年生150人が修学旅行で沖縄を訪れ、2月18日から2泊3日の日程で、伊江村で民泊を体験した。

同校はこれまで9回、民泊で同村を訪れている。入村式で寄付金の贈呈式が行われ、生徒代表の平井^{のどか}和さんが名城政英村長に、文化祭の売上金2万1380円の目録を手渡した。

同校の3年生が昨年6月に開かれた文化祭で模擬店を出店した。毎年、寄付を行っており、今回は修学旅行で訪れた同村に寄付することを決めた。



名城政英村長（右）に目録を手渡す生徒代表の平井和さん
＝2月18日、伊江港

名城村長は「民泊を体験した学校から寄付金を贈呈されたのは初めて。思い出に残る民泊を体験し、大人になっても再び島に訪れてほしい」とお礼を述べた。